

岐阜市市橋地区で「浸水体感VRを活用した防災講座」を行いました

令和4年10月30日（日）、岐阜県防災交流センターで岐阜市市橋地区の住民を対象に「浸水体感VRを活用した防災講座」を行いました。センターの近くには、長良川や荒田川が流れています。

講座では、「災害から大切な命を守るために～過去の災害に学び、備えよう～」と題し、地区内に浸水深を示す標示板のある昭和51年の「9.12豪雨」など過去に発生した災害や、早期避難に向けた課題の説明を行い、その後、浸水体感VRで浸水を疑似体験して頂きました。また、ソナエルピクトのマグネット配布を行い、事前の備えについても確認して頂きました。

今回の取組みは岐阜県が主催し、当研究所による講座のほか、岐阜市の防災対策の説明や弾道ミサイルを想定した住民避難訓練も行われました。

今後も、地域防災力向上のため、多様な機関と連携した取組みを進めてまいります。

